

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 28.11.18 第 192 回国会第 6 号

11 月 18 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 道路運送法の一部を改正する法律案（内閣提出第 19 号）

- ・石井国土交通大臣、末松国土交通副大臣、堀内厚生労働大臣政務官、藤井国土交通大臣政務官、根本国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民進、公明、共産、維新、野間健君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

津 島 淳君（自民）

- ・平成 24 年 4 月の関越自動車道高速ツアーバス事故を踏まえ、安全対策の強化が図られてきたが、今年 1 月の軽井沢スキーバス事故が防げなかった。このことを踏まえ、バス事業に関する規制緩和については良い面と悪い面があると思うが、どのように総括しているのか大臣に伺いたい。
- ・バス事業の安全確保については、実効性を高めるため事業者に人事労務責任者、運行管理者及び整備責任者の 3 者を置くべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・軽井沢スキーバス事故では、バス会社の手配においてランドオペレーターの介在が問題となった。これについて総合的対策では引き続き検討すべき事項となっているが、検討方針及び結論を得る見通しについて見解を伺いたい。

伊 佐 進 一君（公明）

- ・旅行者に支払われる過大な手数料により事実上規制運賃の下限割れが起り得るが、このことに対してどう取り組んでいくのか伺いたい。
- ・航空機のパイロットはライセンス更新時の睡眠時無呼吸症候群検査において、一時間当たりの無呼吸回数が 15 回を上回ると不適合となる基準があるが、貸切バス運転手にも同様な不適合となる基準はあるのか、何らかの対応が必要ではないか。
- ・貸切バス事業が原因となる死亡事故を繰り返さないという大臣の決意を伺いたい。

津 村 啓 介君（民進）

- ・今回の改正で、貸切バス事業の許可について、欠格期間が 2 年から 5 年に延長されることとなった。しかし、取消処分を受けてからの再参入がゼロという現状において、欠格期間の延長が不適合者の再参入の防止策として実効

性があるのか。

- ・訪日外国人の急増により貸切バスの路上駐車対策が課題となっている。しかし、国が混雑平準化のためのデータを旅行者等に提供するなどの工夫をすれば混雑の解消は可能と考える。国が主体となった調査を行い、主導的に路上駐車対策を行っていくことについての大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の安全対策や観光立国実現のボトルネックになるのがバス運転手の絶対的不足であり、このため教習所への支援や免許制度の見直しなどに取り組むべきではないか。

本 村 賢太郎君（民進）

- ・貸切バス事業者の巡回指導等を行う民間指定機関の指定はどのように行われるのか。また、巡回指導等のために徴収する負担金の額及び徴収方法はどのようになるのか。
- ・貸切バス運賃の下限割れをなくし、適正価格を維持していくことは大切である。しかし、バス会社からは旅行者への手数料が上がり、利益が減るのではないかと心配の声もある。下請けたたきのようなことが起こらないように国土交通省としてはどのような対策を行っているのか。
- ・バス運転手のマナーが問題となっており、交通マナーやルールを徹底させる必要があると思うが、大臣の見解を伺いたい。

横 山 博 幸君（民進）

- ・民間指定機関において監査の実効性が確保できるのか。
- ・これまで対策が取られるも事故が繰り返されてきたことをどのように認識し、再発防止策を講じていくのか伺いたい。
- ・本法律案は大幅な罰則強化を含むが、公布から 1 月で施行されることになっている。周知は可能か。また期間設定の根拠は何か。

水戸将史君（民進）

- ・行き過ぎた規制緩和が事故の原因である旨の指摘があるが、国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・バス運転手の労働環境の悪化も問題だが、さらにトラック運転手の方が所得が低く、労働時間は長い。規制緩和がこのような待遇悪化につながった旨の指摘があるが、国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・平成29年に新設される準中型免許について、上限7.5トンの根拠は何か。EUの基準に合わせたわけではない。事故発生件数からみても合理性が感じられない。

清水忠史君（共産）

- ・関越自動車道高速ツアーバス事故を受け策定された「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」に基づく再発防止策の効果の検証を行うフォローアップ会議が、第3回以降も開催されていれば、軽井沢スキーバス事故は起きなかったのではないかと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・関越自動車道高速ツアーバス事故後にも下限割れ運賃対策が講じられたが、どうしていまだに下限割れ運賃が発生するのか伺いたい。
- ・平成26年に実施された「自動車運転者の労働時間の改善のための基準」（改善基準告知）の運用実態調査の結果を公表し、必要な措置を講ずべきと考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・運転手の健康急変の際、保安要員であるバスガイドや車掌がハンドルを握って、バスを路肩に停めた事例がたくさんあり、バスの安全運行には、保安要員の設置が重要で、義務化を含めて提案したいと考えるが見解を伺いたい。

椎木保君（維新）

- ・規制緩和によって事業者数が増加しており、法令違反者の排除が重要であると考え。本法案による事業者の事業許可更新制は、悪質な事業者排除にどのような効果があるか伺いたい。
- ・悪質な事業者の安易な再参入を防止するため、本法案による許可取消処分等に伴う欠格期間の延長が法令違反抑制に対し、どのような効果があるか伺いたい。
- ・バス事業の適正化のためにはランドオペレーターの規制も欠かせないと考え、法改正も含めたランドオペレーターの規制の在り方について見解を伺いたい。